

川口総合文化センター大規模改修及び美術館建設事業に係る技術協力業務委託 公募型プロポーザル評価基準

(趣旨)

第1条 この基準は、「川口総合文化センター大規模改修及び美術館建設事業に係る技術協力業務委託」に係る受注候補者及び次席者を選定するために行う評価について必要な事項を定める。

(評価方法)

第2条 川口総合文化センター大規模改修及び美術館建設事業に係る技術協力業務委託業者選定協議委員会（以下「選定協議委員会」とする。）は、参加申込書等及び提案書並びにプレゼンテーションを評価し、受注候補者及び次席者を選定する。

- 2 前項の場合において、最上位の者が複数あるときは、委員の投票でこれを決し、同数のときは委員長の決するところによる。

(評価項目)

第3条 提案書及びプレゼンテーションの評価は次の項目とする。

なお、要求要件、設計・施工条件、施工場所の現場条件、駅前周辺環境等にも配慮した技術協力書を提出すること。

(1) 技術協力業務の実施に関する提案

- ① 共同企業体としての組織体系における強み
- ② 作業所の組織体系や配置予定人数
- ③ 元請企業としての、鉄骨工事实績
- ④ スケジュール確認のための全体工程表の作成
- ⑤ 物価の高騰による影響や納期の遅延を回避するための提案について。
 - ・組織の購買力でどのように対応していくのか。
 - ・実施設計において、どの程度の物価上昇を見込んだ積算を検討しているのか。

(2) 施工に関する提案

- ① 駅前の周辺環境を踏まえ総合仮設計画の提案
 - ・「川口駅周辺まちづくりビジョン」（市HPに掲載）を参考にすること。
 - ・総合仮設計画については、イメージアップ手法、資機材の楊重計画、工事車輛動線、仮設事務所、誘導員の配置、駅周辺利用者の動線計画等を盛り込んだ計画とすること。
- ② 工期短縮のための効率的かつ効果的な施工方法について
 - ・既存地下駐車場の屋上植栽等及び地下駐車場躯体屋根撤去方法と工程計画
 - ・美術館を既存駐車場へ増築するデイテールへの施工方法・手順と工程計画
 - ・メインホール舞台部・客席部における施工方法・手順と工程計画
 - ・大空間における効率的な仮設足場計画、資機材の内部楊重計画

③ 品質確保のための提案

・例（3D スキャンによる計測や自社技術の活用など）

④ 工事において実施設計と現場の食い違いによる手戻り作業をなくす提案

・例（事前調査の実施、工事に必要と思われる調査項目の提案等）

⑤ 施工者の視点から見たコスト縮減提案

・例（ユニット化、仕様提案、施工方法等）

(3) ヒアリング内容

技術協力者は提出した技術協力書等に基づいてプレゼンテーション審査を行い、その内容について評価委員より、質疑を受ける。

(評価点)

第4条 各評価項目の審査点は、採点表のとおりとする。

2 選定委員会は、各委員が採点した審査点に係数をかけたものの合計の平均値を求め、これを、当該提案書を提出した者（以下、「提案者」という。）の評価点とする。

なお、当該点数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

3 選定委員会は、評価点が総合計の5割に満たない提案者については、受注候補者又は次席者として選定しないものとする。また、提案者が1者の場合において、提案者の評価点が合計点の5割以上である場合には、当該提案者を受注候補者とするものとする。

(失格)

第5条 次の事項のいずれかに該当する提案者は失格（選定対象からの除外）とするとともに、その参加申込書及び提案書を無効とする。

(1) 提出期限を過ぎて提案書を提出した者

(2) 提案書等に虚偽の内容が記載されている者

(3) プレゼンテーションに参加しなかった者

(4) 選定の公平性を害する行為があったと選定委員会が認めた者

川口総合文化センター大規模改修及び美術館建設事業に係る技術協力業務委託
公募型プロポーザル採点表

被評価者名	
評価者名	

No.	評価項目	審査点	係数	評価点	配点
1	共同企業体としての組織体系における強みについて	0・1・2・3・4・5	× 2		10
2	作業所の組織体系や配置予定人数について	0・1・2・3・4・5	× 2		10
3	元請企業としての、鉄骨工事实績について	0・1・2・3・4・5	× 2		10
4	スケジュール確認のための全体工程表の作成	0・1・2・3・4・5	× 2		10
5	物価の高騰による影響や納期の遅延を回避するための提案について ・組織の購買力でどのように対応していくのか。 ・実施設計において、どの程度の物価上昇を見込んだ積算を検討しているのか。	0・1・2・3・4・5	× 2		10
6	駅前の周辺環境を踏まえた総合仮設計画について ※「川口駅周辺まちづくりビジョン」(市 HP に掲載)を参考にすること。 ・総合仮設計画については、イメージアップ手法、資機材の揚重計画、工事車輛動線、仮設事務所、誘導員の配置、駅周辺利用者の動線計画等を盛り込んだ計画とすること。	0・1・2・3・4・5	× 3		15
7	工期短縮のための効率的かつ効果的な施工方法について ・既存地下駐車場の屋上植栽等及び地下駐車場躯体屋根撤去方法と工程計画 ・美術館を既存駐車場へ増築するディテールへの施工方法・手順と工程計画 ・メインホール舞台部・客席部における施工方法・手順と工程計画 ・大空間における効率的な仮設足場計画、資機材の内部揚重計画	0・1・2・3・4・5	× 3		15
8	品質確保のための提案について ・例 (3D スキャンによる計測や自社技術の活用など)	0・1・2・3・4・5	× 3		15
9	工事において実施設計と現場の食い違いによる手戻り作業をなくす提案について ・例 (事前調査の実施、工事に必要と思われる調査項目の提案等)	0・1・2・3・4・5	× 3		15
10	施工者の視点から見たコスト縮減提案について ・例 (ユニット化、仕様提案、施工方法等)	0・1・2・3・4・5	× 3		15
合計					125

※審査点は0点(評価できない)、1点(不十分)、2点(やや不十分)、3点(普通)、4点(良い)、5点(特に良い)とし、大きい数字程良い評価とする。

※審査時は審査点の項目の0~5点で採点し、集計時に係数を掛けて評価点を算出するもの。